

令和元年度 麻溝地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和元年10月3日(木)午後7時から午後8時46分まで
- 2 場 所 麻溝公民館大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、森副市長、長谷川南区長、石井企画財政局理事、田野倉道路部長、渡邊教育環境部長、阿部南区副区長
樋口市民局長、高梨市民局次長
- 4 出席委員等 22人
- 5 傍聴者 8人
- 6 懇談会の要旨

テ - マ	県道52号拡幅工事に伴う通学路等の交通安全対策及び地域のまちづくりへの影響について
概要	<p>圏央道インターチェンジの開設により通行車両、特に大型車両が増加し、県道52号の渋滞が常態化しており、周辺的生活道路に抜け道として進入してくる車両も増えている状況にある。県道52号の拡幅工事が本格化すると、更なる増加が懸念され、大津市で発生した交通事故をはじめ、各地で子どもが巻き込まれる悲惨な交通事故が頻発していることもあり、通学路や地域で危険性が指摘されている箇所の安全対策は喫緊の課題となっているため、地域と教育委員会や学校との関わりも含め対策の進め方について懇談したい。</p> <p>また、県道52号の4車線化とJR相模線との立体化により地域が分断されることにより、地域住民の生活利便性の確保や地域コミュニティ、まちづくりへの影響も心配されるため、その対策等についても懇談したい。</p>
地区の取組状況等	<p>P T A や安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部等により、通学時間帯の見守り活動が行われているが、地域には歩道のない狭い道路も多く、県道の抜け道として進入車両も増えているため危険な状況となっている。また、工事の開始に伴い麻溝小学校横の横断歩道橋が撤去されると通学路にも大きな影響が出るため、地域としても児童の交通安全対策を改めて考えていく必要がある。通学時間帯等で行っている見守り活動以外に地域としてできる対策や、市としてできる対策について懇談したい。</p> <p>県道52号は、相模原愛川ICのアクセス道路としてだけではなく、麻溝地区内の当麻と下溝をつなぐ生活道路としても大変重要な道路であり、4車線化とJR相模線との立体化により、地域が分断され、地域コミュニティやまちづくりに悪影響が生じないように、地域としても対策を検討し、取り組んでいく必要がある。</p> <p>具体的には、子どもや高齢者が4車線化後の広い道路を安全に横断できるように、歩道橋や歩車分離式信号機の設置について検討してほしいと考えている。</p> <p>また、これまで県道52号とJR相模線は平面交差であったため、地域の連続性・一体性が保たれ簡単に行き来ができていたが、立体交差化により生活道路としての利便性が失われ、自治会活動やまちづくりに支障が出るのではないかと考えている。立体交差化による影響を最小限に留めるためにも、スムーズな交流ができるような対策を検討してほしい。</p>

<p>市の取組 状況等</p>	<p>現在、県道52号は、相模原愛川ICから当麻坂を通り、相模原茅ヶ崎線に至るまでの区間で4車線化が完了している。今後、その延長にある相模線と交差する部分約480mの区間を先行して整備する予定である。</p> <p>状況としては、現在も用地取得交渉中であり、取得率は約52%である。線路との立体交差部分の整備に当たっては、北側に約20mずれたところに切り回し道路を整備した後に本体道路部分の整備を行う。切り回し道路は仮設道路ではあるが、既存道路よりも安全に配慮した設計としている。</p> <p>県道52号で渋滞が慢性的に発生しているため、周辺道路が抜け道として利用されている事例も聞いている。通学路にグリーンベルトを整備したり、通学路そのものを変えていく必要もあると思う。今後も歩行者安全確保のためのサインやカーブミラーを整備し、安全を確保していく。</p> <p>今後の予定としては、令和2年度から切り回し道路の整備に着工し、令和4年度の切り回し道路完成後に本体道路部分の工事に入っていく。すべての工事完了までには、切り回し道路に着工してから概ね10年ほどかかる見込である。</p> <p>工事に際して交通誘導員等を配置することは勿論だが、朝の時間帯は、400人ほどの生徒が県道52号の歩道橋に集まってくる状況にある。歩道橋が使えなくなったあと、生徒をどういうルートで学校に誘導するかはまだ確定していないが、PTAの方や先生方とも調整を図り、皆さんの声を聞きながら整理していきたい。（都市建設局）</p> <p>県道52号の整備に関連して、通学路の状況が大きく変わってくる。どこを通学路にするのか、どう対策を講じるのが良いかを事前に検討したいと考えている。今後、警察等の様々な機関に働きかけたり、地域の皆さんに引き続き見守り等でご協力をお願いすることもあると思う。市としても、学童・通学安全指導員を配置するなどし、子どもたちが安全に通学できるような対策を講じていきたい。（教育局）</p> <p>交通安全対策については、安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部を通じ、熱心に活動いただいている。交通安全キャンペーンの実施や啓発看板、マークの作成・配布等をしていただいております。区役所もこういった活動を支援している。南区内における交通規制等の要望については、地域から要望があった場合に相模原南警察署への取次を行っている。今後も地域と連携して交通事故防止に向けた取組を行っていくとともに、警察署へも働きかけていきたい。</p> <p>地域のまちづくりへの取組については、まちづくりセンターに配置している地域政策担当職員や地域活力推進員を中心に、まちづくり会議や自治会連合会等の地域団体の活動支援を行っている。今後もまちづくり会議や地域の各種団体等と連携し、皆さんの意見を聞きながら地域課題の解決に向けた取組を通じて地域コミュニティの醸成やまちづくりへの支援を行っていきたい。（南区役所）</p>
---------------------	---

懇談内容	
<p>地区の発言</p>	<p>子どもの通学に関して、引続き地域にもよろしくお願ひしたいというお話があったが、昨今では教職員の働き方改革や、PTAの共働き家庭の増加などもあり、持続が難しい。安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部にもご協力いただいているが、中々ボランティアだけでは担いきれないのが現状である。</p>

	<p>今後、工事が始まり、歩道橋が使えなくなれば、歩行者が道路を横断する時間が長くなる。特に朝の時間帯、通学途中の子どもたちが渡るようになれば、更に渋滞が激しくなったり、無理に突っ込んでくるような車も出てくるかもしれない。過去に死亡事故があった交差点のため、地域としても非常に気にしている。ボランティア等だけでは対応しきれないので、専門に囑託された方を登下校の時間に配置するなどの措置をとっていただきたい。</p>
市の発言	<p>現在も通学路において特に危険だと思われる箇所には通学安全指導員を配置している。十分な歩道の設置や交差点での信号待ちスペースの確保、工事現場での交通誘導員の配置、通学安全指導員の配置等できる限り万全の安全対策を講じたいと考えている。どのような場所に指導員の配置が必要か、どういう工夫が必要か等は皆さんの声を聞きながら検討していきたい。（教育局）</p>
地区の発言	<p>8月30日に大正坂下で青パトの防犯活動に参加したが、朝7時半から8時半は通学時間帯で進入禁止となっているにも関わらず進入してくる車があった。そういう車を取り締まらないと安全な通学路の確保は難しいのではないかと。抜け道を使うと大正坂下から麻溝小学校付近まで10分程で抜けられるが、県道52号経由となるとその何倍も時間がかかるため、進入してしまう車の気持ちもわかるが、子どもを守るためには徹底して進入禁止を守る必要がある。</p>
市の発言	<p>この件については、南区役所から相模原南警察署にしっかり伝えたい。取締回数を増やしてもらえないかもあわせて相談したい。（南区役所） 教育委員会でも区役所と協力して通学路交通安全プログラムを行い、学校からの要望や提案について、警察に働きかけている。（教育委員会） 相模原愛川ICの完成後、県道52号の渋滞が慢性化しており、抜け道を使う車も多いが、子ども達の通学路の問題もあるので、しっかり警察と連携して対応できるよう、私自身も相模原南警察署に働きかけていきたい。（市長）</p>
地区の発言	<p>県道46号と県道52号の交差部分について、もっと良い安全対策の方法があるのではないかと。今後、平面交差部分の渋滞が考えられるのではないかとと思うが、いかがか。</p>
市の発言	<p>神奈川県が所管していた時代には、相模線交差部だけでなく、県道46号交差部分も立体化する計画があったが、川が多い地域であることや、坂の途中から工事を始めなければならないこと等からやむを得ず平面交差になったと聞いている。 県道52号は、交差点ではなく踏切が原因となって渋滞が起こっている状況にあるため、踏切部分が立体化すれば、渋滞緩和が図られると考えられる。（都市建設局）</p>
地区の発言	<p>立体交差部完成後、子どもや高齢者の通行の困難さを考えると、立体交差部分にエレベーター等の設置を考慮に入れた方が良いのではないかと。</p>
市の発言	<p>立体交差部分の両側には副道が通っており、歩道幅員を2.5mとってある。立体交差部分が完成すれば、副道を使い、現在よりも安全に通行できると考えている。（都市建設局）</p>
地区の発言	<p>完成まで10年となると、長すぎるのではないかと。物価が上がればその分予算に跳ね返り、その結果更に工期が長引いたりすることもあるのではないかと。なるべく早い完成を目指してほしい。</p>

市の発言	<p>確かに完成まで10年ともなると大分長い印象を受ける。</p> <p>今回の9月補正予算において、藤野にある県道76号の整備費用を計上した。これは、これまで5年間で計画していたものを、工期を短縮し、3年間で完成できるようにするものである。県道52号についてはまだわからないが、今後市内でよく相談し、少しでも早い完成を目指したいと思う。(市長)</p>
地区の発言	<p>1点目は仮設道路についてだが、資料によると、仮設道路が麻溝小学校入り口交差点あたりから設置されると思うが、現在ある交差点の真ん中ではなく端っこから仮設道路に繋がるように見える。交通処理はどうなるのか伺いたい。</p> <p>2点目は、要望という形でお話したい。変更後の通学路については事前に決めたいというお話であるが、これだけ仮設道路の案が出てきているのであれば、もう通学路の変更案を出せるのではないかと思う。なるべく早く道路部局と調整のうえ、早めの対応をお願いしたい。</p>
市の発言	<p>仮設道路の図面は、分かりやすいようになかなか極端に作成している。どのぐらいの延長でどのぐらいの幅ですりつけるというのは道路構造令というもので決まっている。仮設道路の設置に当たっては、安全に通行できるように既存道路とのセンターを合わせて設計し、整備していきたい。(都市建設局)</p> <p>県道52号を取り巻く問題としては、52号本線の慢性的な渋滞と、地域生活道路内への車両の進入という2点があると思う。</p> <p>まず、県道52号の渋滞をいかに解消していくかは、地域の皆さんにとってだけでなく、市にとっても大きな問題である。県道52号は、麻溝地区の生活道路としての役割と、相模川愛川ICから国道16号へ繋がる動脈としての役割がある。交通調査などもしたうえで、渋滞緩和のためには4車線化必須という結論を出した。そのための今回の道路拡幅・JR相模線線路交差部の立体化工事である。</p> <p>もう1つが地域生活道路への車両の進入である。児童だけでなく、皆さん自身も危ない思いをすることがあると思うが、工事中は勿論それ以外の時も含めて指導員や誘導員の配置、安全帯の設置などを通じて安全を守っていきたい。場合によっては今後も皆さんへご助力をお願いすることもあるかと思うが、それに頼るばかりではなく、市としても警察等の関係機関への働きかけなども含め行っていきたい。(副市長)</p>
地区の発言	<p>平面の歩道を渡らないといけないということだが、子どもたちを守るという点や、高齢者が安全に渡れるような道路という点で考えると非常に不安を感じる。歩道橋などを設置していただけないか。</p>
市の発言	<p>10年という長い期間での工事であり、その間仮設道路はずっと車が通っており、既存道路は立体交差化工事を行うための工事車両が通るようになる。</p> <p>工事完了までの間、仮設道路側から学校へ行くには基本的には県道46号の交差点を通ることになると思うが、400人の子どもが通るとなると特定の時間に子どもたちが交差点に溜まってしまうため、仮設道路や、時間帯によっては休工中の既存道路をうまく使って学校に行けるような方策も検討したいと考えている。</p> <p>なお、工事完了後は副道の整備等により、安全に立体交差部分を横断できるようになる。副道から階段を使って下の立体部分の歩道に降りられる抜け道を2カ所設置するので、安全にショートカットできるようになっている。(都市建設)</p>

	局)
地区の発言	保護者としても地域住民としても、まだイメージが湧ききっていない。11月のPTA本部会に道路部の方が来て下さり、色々説明を聞けるということなので、話を詰めていければと思う。
地区の発言	道が変わるということは、防犯カメラの配置が変わってくると思う。新しい道になったら新しい防犯カメラが改めて設置されるのか。工事期間中にも子どもが通るところには防犯カメラは設置されるのか。子どもたちを見守るという意味ではそういった取組も必要かと思うが、いかがか。
市の発言	現状は、道路には防犯カメラはついてない。学校の正門側に1カ所ついているが、道路にはついていない。(都市建設局)
地区の発言	新しい道路は、これまで以上に子どもたちが集中して通る道になると思うので、そこに防犯カメラをつけておけば色々な意味で抑制に繋がるのではないかと思うのだが、いかがか。
市の発言	道路に防犯カメラをつけるということはしていない。(都市建設局) 現在、神奈川県との協調補助による防犯カメラの設置補助金として、地域から申請をいただいたものについてお金が出る制度もある。県では見直しの動きもあるようで、切り直し道路の供用開始予定の令和4年頃に制度がそのまま残っているかはわからないが、防犯カメラの設置が防犯上非常に有効であることは認識しているため、引き続き支援ができるよう検討していきたい。(市民局)
地区の発言	過去に市の方で幹線快速バスシステムを検討してきた経緯があると思うが、県道52号整備と幹線快速バスシステムの関わりはどのようになるのか。
市の発言	幹線快速バスシステムについては市の取組の1つとして検討させていただいている。このシステムを多くの方に快適に使っていただくためには、幹線快速バスシステム自体が安全で、定時性を持った走行ができるかどうかということにある。県道52号の4車線化は、幹線快速バスシステムの安定走行にも大きく関わってくる場所である。 現在の取組としては、バスが退避できるような停留所を整備し、バス以外の車両の通行を円滑に流す方策が考えられないかを中心に検討している。また、9月30日の伊勢丹相模原店の閉店を受け、相模大野駅周辺への車の流れが変わると思われる。これにより、4車線化前の県道52号の交通量がどのように影響を受けるかを確認した上で、幹線快速バスシステムの導入時期等を検討していく。(副市長)
地区の発言	幹線快速バスシステムの想定ルートは県道52号と重複してくるのではないかと。本当に幹線快速バスシステムができるのか、心配している。
市の発言	お見込みのとおり、かなりの区間が重複してくる。そのため、4車線化によりどのような影響が出て来るか確認しながら、今後、幹線快速バスシステムの検討を深めていきたいと考えている。(副市長)
地区の発言	このような大きなテーマを年に一回懇談会の場で話しても、中々十分な議論が出来ない。可能であれば、市と地域が直接話し合う機会を多く設定し、共に進めていくという形が良いのではないかと思う。 麻溝公民館を建てた際も地域と市の担当者が一緒になって話し合いを行った。道路に関しても同じようなやり方をできるのではないかと考えている。まちづく

	り会議の傘下に専門部会を作ったらどうかと考えている。
地区の発言	工事が完了するまで10年ということで、10年の間に地域の安全・安心を守るための課題は沢山出てくると思う。そういった課題を市の担当者や工事担当者においてもしっかり引き継いでいける体制づくりや相互連携をしてほしい。
地区の発言	職業柄、障害を持った子どもたちと触れ合う機会が沢山ある。 先ほど、立体交差部分には階段がつきショートカットができるというお話があったが、「階段しかつかないのか」と残念に感じた。これから10年かけてまちづくりを進めていくのであれば、障害のある方も含めた共生社会ということを念頭に置いて計画を進めていただきたい。
市の発言	この道路は、計画上、車道の勾配が8%となっているが、歩道についてはバリアフリーの観点から5%の勾配で整備をさせていただく。エレベーター等の設置が可能かどうかについては再度検討しないとならないが、対応策については検討したい。(都市建設局)
地区の発言	県道52号の相模線の立体交差部分の工事に10年ということだが、今回の優先工事部分以外のところは何年後に整備完了予定か。
市の発言	県道52号は非常に長い路線である。道路整備に当たっては、用地を買収しながら進めていくので、まずは慢性的な渋滞の原因になっていたり、交通が集中している部分を先行して整備し、追って整備箇所を伸ばしていくという形になる。何年後と具体的に回答することは難しい。(都市建設局)
地区の発言	ギオンスタジアムは交通アクセスが悪いと感じており、イベントがあるときだけでも原当麻駅・相模大野駅・古淵駅等から市としてシャトルバスを走らせることはできないか。各駅からのアクセスが悪いことは、観戦客の確保にも影響を及ぼしているのではないかと感じる。
市の発言	ギオンスタジアムで行われているイベントは、ホームタウンチーム主催のイベントであるため、シャトルバスを出すとなるとチーム負担、チーム主導となってくる。アクセス改善へのご意見があることはホームタウンチームに伝えつつ、市としてもどういった支援が出来るか考えていきたい。(市長)

市長の感想等	<p>市政を担っているものとして、常々、市民の皆さんと顔の見える関係を作っていかなければならないと思っている。</p> <p>一年に一回集まるだけでは、地域の状況も環境も変わってしまうので、直接お話しできる機会があれば是非お声掛けいただき、参加させていただきたい。</p> <p>異動等により、市側の担当者が変わる可能性もあるため、引継ぎ等もしっかり行っていかなければならない。ここで私たちが約束したことが、担当者が変わったことで変わってしまうようなことがあってはならないと思っている。</p> <p>麻溝地区で生まれた子どもが地域で学び育ち、働きに出て、パートナーを見つけ、またこの地域に居住できるような環境づくりを応援していきたい。相模原愛川ICが至近にあり、こんなに利便性の高いところは中々ないと思うので、利便性を生かした麻溝らしいまちづくりを応援したい。</p> <p>県道52号に関しては、用地取得も含めて10年間で約90億円の費用を見込んでいる。市では現在、28本の道路を整備しているが、様々な地域の道路を分散して整備している状況であるため、道路部門には、選択と集中を行い、優先して道路整</p>
--------	--

備を行う場所を決め、なるべく短時間で効果的な道路整備を行ってほしいというお願いをしている。県道52号の整備がどうなるか明言はできないが、なるべく短時間で整備が完了するように努力していきたい。

本日は、防犯カメラや幹線快速バスシステム、共生社会の実現に関してもお話をいただいた。麻溝地区というのは、麻溝公園やギオンスタジアムなど沢山の資源があり、わくわくするようなまちづくりが可能な地区である。当麻地区区画整理事業等により、今後、また大きくまちが変わってくると思うが、引続き対話を行いながら、しっかりと応援させていただく。（市長）